オペラ劇場
あらかわバイロイト

TIAA オペラ第51回公演

第3回ワーグナー音楽祭・舞台祝祭劇「ニーベルングの指環」第3日

神々の黄昏

Richard Wagner :
Der Ring des Nibelungen
GÖTTERDÄMMERUNG

photo:ステージライフ

クリスティアン・ハンマー
指揮(A/C)

photo:Nagaswa

佐々木修
指揮(B)

佐藤美晴
演出

配役	A 23日(金)	B 24日(土)	C 25日(日)
ジークフリート	角田和弘	池本和憲	今尾滋
ブリュンヒルデ	及川睦子	福田祥子*	福田玲子
ハーゲン	木川田澄	大塚博章	若林勉
グンター	田辺とおる	大井哲也	高橋祐樹
グートルーネ	山本真由美	薮田瑞穂	羽山弘子
ヴァルトラウテ	小畑朱実	田辺いづみ	向野由美子
アルベリッヒ	筒井修平	飯田裕之	田辺とおる
第一のノルン	諸田広美	飯島由利江	奥野恵子
第二のノルン	須﨑木の実	生沼美香	竹内恵子
第三のノルン	波佐間成美	松井亜樹*	井上智映子*
ヴォークリンデ	諸藤恵美*	佐久間響子	近藤幸江
ヴェルグンデ	津久井明子	栗原千英	平舘直子
フロスヒルデ	星野恵里	田村由貴絵	栗田真帆

＊印は東京国際声楽コンクール入選・入賞記録

管弦楽：TIAA フィルハーモニー管弦楽団
（コンサートマスター：三ツ木摩理）

合唱団：あらかわオペラシンガーズ

合唱指揮：草原哲広
副指揮・首席コレペティトゥア：河合良一

美術：松村あや
舞台監督：近藤元
照明：望月太介
演出助手：舘亜里沙

衣装：小山花絵
小道具：中里有
公演監督：田辺とおる
制作：片山孝調

東京・サンパール荒川大ホール

2011年9月23日(金祝) / 24日(土) / 25日(日) / いずれも13:00開演(12:30開場)

主催：TIAA一般社団法人 東京国際芸術協会　共催：財団法人 ACC 荒川区地域振興公社　協賛：GAINAX / 株式会社マエストロ
後援：ドイツ連邦共和国大使館 / 日本ワーグナー協会　協力：㈱ハセベ町屋イン / ㈱ホテルラングウッド / 東京音楽学院

Painting:Atsuko GOTO「幻聴」より

オペラ劇場
あらかわバイロイト

第3回ワーグナー音楽祭・舞台祝祭劇「ニーベルングの指環」第3日

神々の黄昏

	A	B	C
第一のノルン	諸田広美	飯島由利江	奥野恵子
第二のノルン	須崎木の実	生沼美香	竹内恵子
第三のノルン	波佐間成美	松井亜樹	井上智映子
ヴォークリンデ	諸藤恵美	佐久間響子	近藤幸江
ヴェルグンデ	津久井明子	栗原千英	平舘直子
フロスヒルデ	星野恵里	田村由貴絵	栗田真帆

Richard Wagner :
Der Ring des Nibelungen
GÖTTERDÄMMERUNG

オペラ劇場あらかわバイロイトのあゆみ

2009年01月　「パルシファル」ガラコンサート
2009年05月　第1回ワーグナー音楽祭・楽劇「パルシファル」
2009年10月　特別演奏会（タンホイザー・ワルキューレ抜粋）
2010年04月　第2回ワーグナー音楽祭・楽劇「ワルキューレ」
2010年10月　特別演奏会「プッチーニ&ワーグナー・ガラコンサート」
2011年01月　魅惑のドイツオペラ「ヘンゼルとグレーテル」

公演批評記事より

ワーグナーの巨大性ではなく、むしろ細やかな音楽性を浮かび上がらせた功績は、指揮のクリスティアン・ハンマーの音楽性によるところが大きいだろう。オーケストラは、流れを途切れさせない指揮者の力もあり、確かにワーグナーの音楽の美しさを引き出していた。歌手陣では、太田直樹のドイツ語の美しさ、蔵野蘭子の存在感、田辺とおるの体当たりの演唱、リリックな声を崩さず演じ切った小貫岩夫らが印象深い。**（國土潤一・音楽の友2009年7月号）**

「あらかわバイロイト」とは、何か稚気満々の命名だが、上演内容はきわめて良心的で手応えが強い。結論から言えばこれは快挙だ。**（東条碩夫・Grand Opera 2009年秋号）**

その上演水準はすこぶる歯の強いものといえよう。参加しているのはいずれもプロの音楽家たちだから、内容もしっかりしている。乏しい制作費にもかかわらず、よくぞここまでの水準に仕上げたものだと、感嘆せずにはいられない。ハンマーはワーグナーに必要な情感はすべて備えており、たとえば「ヴォータンの告別」のさなか、弦楽器群がゆっくりとモティーフを奏するくだりで彼がオーケストラから引き出した悲劇的な感情の濃さは、卓越したものであった。配役はトリプル・キャストで、角田と蔵野が歌唱も演技も安定して、群を抜いて映えた。この「あらかわバイロイト」、総じて昨年を凌駕する力作と評したい。**（東条碩夫のコンサート日記・2010年4月24日）**

《都電で歓喜する「あらかわワグネリアン」・今、あらかわバイロイトがおもしろい》ワーグナー最後の難しいオペラから始めるのも大胆なら、堂々3組のキャストを日本の声楽家だけで編成するのも大胆。公演の中枢を担うバリトン歌手で、ドイツでの舞台経験も豊富な田辺とおるは「難役であればあるほど若い時から歌い込む必要があるが、日本には十分な場がない。できるだけ多くの歌手が一度は舞台を経験できるよう仕向けるべきだ」と、一見無謀な企画の舞台裏を説明する。ハンマーの指揮は若手のオーケストラを丁寧に導き、ワーグナーを聴く醍醐味を殺さない。歌手は大舞台でワーグナーを歌ってきたベテランから新人まで。何とも、後味のいい公演だ。終演後、荒川区役所前の電停にあふれかえる「あらかわワグネリアン」の顔も、達成感で満たされていた。**（池田卓夫・日経ウェブ2010年5月4日）**

初心者や子供でも楽しめるためか、とかく日本語の短縮版上演ばかりになってしまう「ヘンゼル」だが、今回はフル編成オケとノーカット・ドイツ語版による本格上演。歌手もベテラン勢から若手まで粒が揃い、新人福田の健闘もさることながらやはり小畑の魔女の存在が光った。D公演は佐々木の指揮で、ハンマーにも引けを取らぬ的確な指揮ぶりで随所を鋭く抉り抜いていた。**（浅岡弘和・音楽現代2011年3月号）**

ワーグナー路線追及の「あらかわバイロイト」が、今回はワーグナーの高弟フンパーディンクの「ヘンゼルとグレーテル」。一見平易に見える音楽はきわめて巧緻な仕掛け。それを熱演した歌手とTIAAフィルを指揮したクリスティアン・ハンマーが的確に造形した。**（三善清達・音楽の友2011年3月号）**

「下町発のワーグナー」というユニークな視点でこれまで《パルシファル》《ワルキューレ》などで好評を博してきた。実力派の歌手たちがずらりと顔を揃える豪華さはこれまでの公演でも評判だったが《魔笛》でも角田和弘・山本真由美・飯田みち代など、近年進境著しい面々が祝祭的な華やぎを添えてくれるのは間違いない。また東京国際声楽コンクールの入賞・入選者を含めたフレッシュな若手が数多く抜擢されているのも「あらかわバイロイト」ならではだ。**（伊藤制子・ぶらあぼ2011年5月号）**

第3回東京国際声楽コンクール

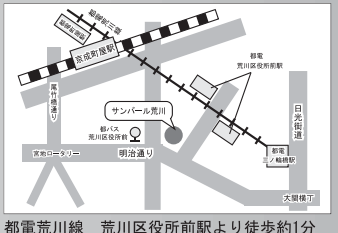
予選・准本選・本選ともに公開・入場無料

募集部門：高校生・大学生・一般・オペレッタ・声楽愛好者
予選：6月25日～8月6日　北海道/宮城/東京/愛知/石川/兵庫/岡山/福岡/沖縄
准本選：8月27日（土）兵庫県/篠山市　8月28日（日）東京都
本選：9月3日（土）イタリア文化会館アニェッリホール（東京都千代田区）
審査員：川上洋司（審査委員長・東京藝術大学教授）ほか
全国の音楽大学教授・評論家・指揮者など計49名
入賞特典：賞状・賞金等の他、TIAAオペラ・演奏会などに出演推挙、海外音楽大学マスタークラス参加助成など

お問合せ・資料請求
東京国際芸術協会まで

2011年9月23日(金祝) / 24日(土) / 25日(日) / いずれも 13:00開演（12:30開場）

サンパール荒川大ホール
東京都荒川区荒川1-1-1　TEL：03-3806-6531



都電荒川線　荒川区役所前駅より徒歩約1分
都バス　荒川区役所前より徒歩約1分
東京メトロ日比谷線　三ノ輪駅より徒歩約10分
JR常磐線　三河島駅より徒歩約10分

入場料
各公演
全席指定
（税込み）

●一般料金	S席￥12,000	A席￥10,000	B席￥6,000	C席￥4,000
●会員料金	S席￥10,800	A席￥9,000	B席￥5,400	C席￥3,600
●荒川区特典	荒川区在住・在勤・在学の方はB席￥5,000、C席￥3,000で購入可能			

※会員＝東京国際芸術協会会員
※会員料金及び荒川区特典のご予約は東京国際芸術協会のみのお取り扱いとなります。

チケットご予約 お問合せ

東京国際芸術協会　電話:03-3809-9712（平日9:30～18:30）
FAX:03-3809-9711　www.tiaa-jp.com　e-mail:info@tiaa-jp.com
前売りプレイガイド：電子チケットぴあ　0570-02-9999（Pコード142-422）http://t.pia.jp

絶賛発売中